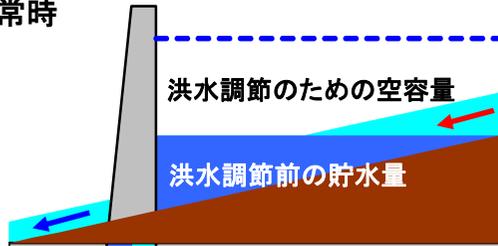


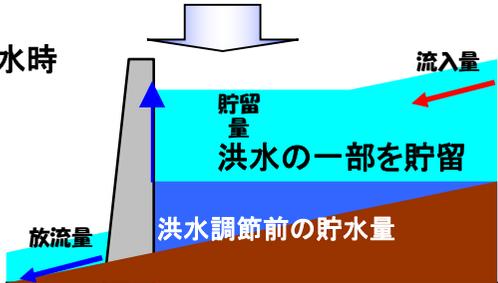
# 皆瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

## ダムの洪水調節機能(イメージ)

平常時

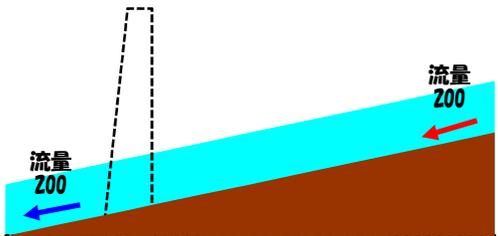


洪水時



洪水時に、例えば200流れている水のうち80をダムに貯め

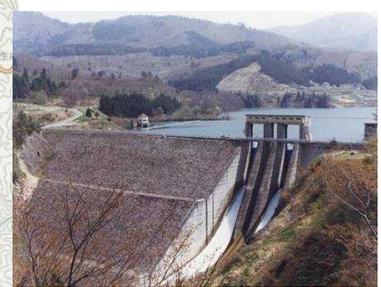
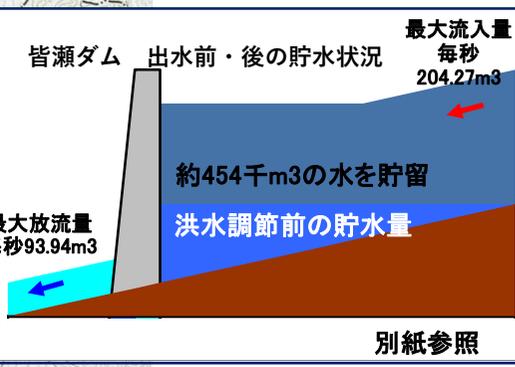
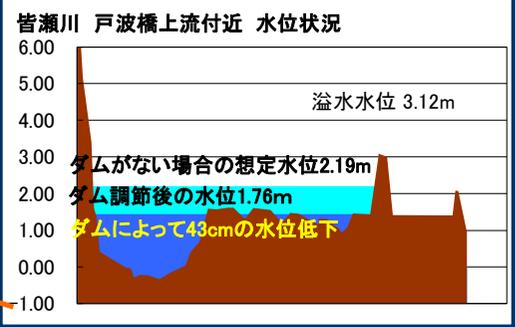
ダムがない場合



流れている200の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は60%になり、洪水被害を軽減します。

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。



皆瀬ダムでは、8月7日の暖かく湿った空気や上空の寒気の影響による出水のため洪水調節を行いました。約454千m<sup>3</sup>の洪水をダムに貯留し、ダム下流の皆瀬川に流れる水量を少なくしました。

# 皆瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

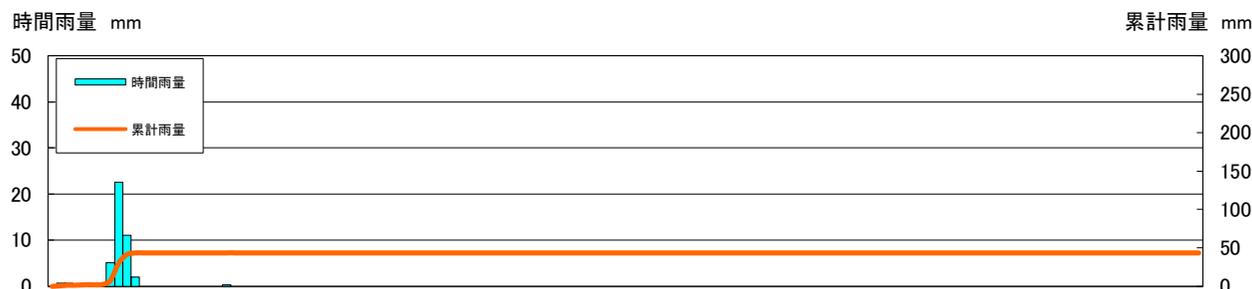
※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

## 概況

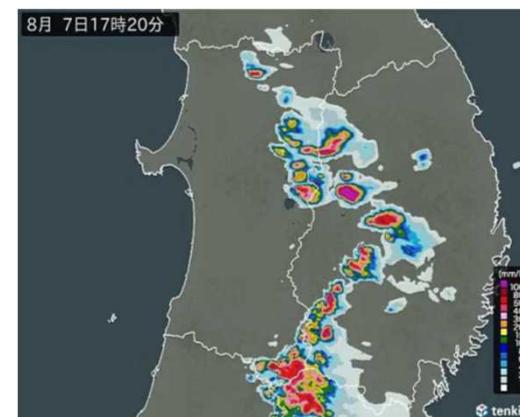
皆瀬ダムでは、暖かく湿った空気や上空の寒気の影響による出水のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、最大時間雨量22.6mm、累計雨量は43.6mmとなり、皆瀬ダムにおける最大流入量は204.27m<sup>3</sup>/sまで上昇しました。洪水調節の結果、洪水調節量として112.37m<sup>3</sup>/s、約454千m<sup>3</sup>の水をダムに貯留し、皆瀬川 戸波橋付近では0.43m、河川水位を下げることができました。

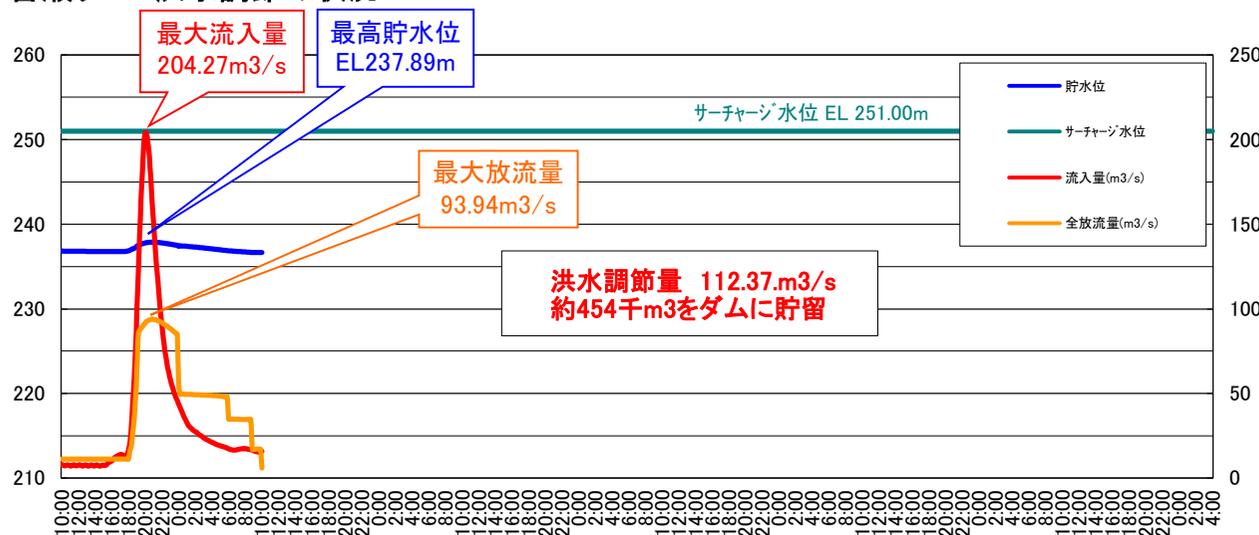
## 降雨の状況(皆瀬ダム流域平均雨量)



## 気象レーダ (8月7日 17時20分)



## 皆瀬ダム 洪水調節の状況



## 皆瀬ダム諸元

河川名	雄物川水系 皆瀬川
形式	表面遮水壁型ロックフィルダム
堤高	66.5m
堤長	215.0m
堤体積	575,000m <sup>3</sup>
集水面積	172km <sup>2</sup>
湛水面積	1.5km <sup>2</sup>
有効貯水量	2630万m <sup>3</sup>
サーチャージ水位	EL. 251.00m
洪水流量	100m <sup>3</sup> /s
竣工年度	昭和38年

8/7 8/8 8/9